

「地域材を活用したとち型エコ住宅」普及促進事業

課題

北方型住宅の建設促進【建設】

- 基本性能の確保とサポートシステム
長寿命、安心、健康、環境との共生、
地域らしさ
- 国内最高水準の断熱気密性能
暖房エネルギー、CO2排出の大幅な削減

「北方型住宅」

地域材の利用促進【林務】

- 住宅建設における地域材利用促進
- 住宅産業における森林循環モデルの構築
- 林業等の地域経済の活性化

「とち発カラマツ住宅」

エコライフの定着【環境生活】

- 住まいづくりにおけるエコライフの実現
- 住宅における自然エネルギーやバイオマスエネルギーの利活用促進（地域政策、
商工労働観光）

「もっとエコなとちづくり」

地域波及効果の増大

連携

事業実施効率の向上

背景

- 長期優良住宅、住宅版エコポイント等、
国の省エネ住宅への取組強化
- 公共建築物木材利用促進法の成立
H22.5.26公布

地域材活用住宅建設の機運
の高まり

十勝連携地域において、地域特性を活かして
重点的に取組を推進

北海道モデル

- 森林資源循環モデルの構築

施設の木造化・木質化の促進
森林バイオマスエネルギー利用の促進

対応策

検討会議の開催

普及促進セミナー等の実施

協働

- 産 林業、製材業、建築各関係者
など
- 民 環境活動団体 など
- 学 北方建築総合研究所
林産試験場など
- 官 市町村（地域住宅協議会）
十勝総合振興局 など

連携して取組みを推進

目標

地域材を活用したとち型
エコ住宅の普及促進

事業効果

- ・良質な住宅ストックの増加
- ・住宅産業・林業の活性化
- ・CO2排出量の削減

北海道立総合研究機構 戦略研究課題

- (H22~26年度 予算額1億円/5年間)
- 「新たな住まい」と森林資源循環による
持続可能な地域の形成
北方型住宅を基盤とした省エネ性、耐久性
向上、コスト低減を目指すための技術開発